



# 吉本みつる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 埋立て許可取消し求め論陣 金谷地区の残土処分場問題

### 市民の声を県政に届けます

富津市特集 9月県議会一般質問



本会議場での一般質問に臨む吉本県議

充実の三期目に入り、自民党県連の中でも論客としての評価が高まっている富津市選出の吉本充(よしもと・みつる)県議は、九月定例県議会で一般質問に登壇し、残土埋め立て許可の取消しと残土条例の見直しなどを求めて、県執行部の考えをたどりました。

この中で、吉本県議は、同市金谷地先での残土埋め立て事業が、住民の理解を得られず、地域の環境にいかにも悪影響を及ぼす懸念が抱かれているかなどを指摘し、県の許可取消しを求めました。他にも東京湾のノリ養殖事業や、教育問題などを取り上げ、堂本知事らの前向きな答弁を引き出しました。吉本県議の質疑を4ページにわたって特集します。

吉本議員 初めに、私の地元であります富津市金谷字新梨地先における特定事業、いわゆる建設発生土(残土)埋め立て事業について伺います。

本日は、この議場にも地元より多くの皆さんが、この問題の解決を求めて傍聴にいられております。県当局の、真摯かつ前向きな答弁を願い、質問に入ります。

さて、この事業の概要については、すでに新聞、テレビ等において報道されており、あらためて詳しい説明はいたしません。本年五月三十日付で県の許可がおりた富津市金谷地区にお

ける特定事業であり、許可土量約八十八万五千立方メートルを、平成二十年五月三十日から三年間で埋め立てを行うものであります。

この許可決定を受け、それまでも事業反対を表明し、反対署名活動を行い、富津市及び千葉県に陳情を行ってきた地元住民を中心とした「金谷の自然を守る会」の皆さんが、許可の取り消しを求め、その活動を市内全域に拡大し、(ちなみに九月二十七日現在、六百七十八名を数え、さらに増え続けています)六月十八日に富津市議会議長へ、同二十五日には富津市長へ、事業計画の撤回を、市から県に対し強く働きかけてほしい旨の要望書が提出され、市長は七月十七日付で知事に対し、次の通りの要請を行いました。

要点のみを申し上げますと、「地元は、地下水や山の絞り水を利用しての住宅もあり、地下水汚染、河川、海域の水質汚染並びに山林破壊、水産資源への影響を懸念しております。当該地域は、『鋸山』を中心に自然環境や景観を観光資源として、観光産業の活性化を進めているところであり、観光イメージへの悪化も危惧しております。このような状況下では、市と

いたしましたも当該特定事業者に対し、許可条件である地元の理解を得て協定がされない限り、土砂を搬入させないよう強く要請いたします。

また、特定事業に絡む諸問題が生じていることから、木更津港湾事務所が管轄する港湾施設での残土荷揚げをさせないよう「要請いたします」。以上の通りであります。

私のところにも、守る会の皆さんが再三おいでになり、民意を尊重し、この問題の解決に努力してほしいとの要請があり、今月八日に事業者・地権者・守る会の三者による第一回の交渉の場を設けましたが、残念ながら不調に終わりました。

その折に、地権者及び事業者から、いわれない誹謗、中傷を受け対応に苦慮している旨の発言もあり、今後の展開いかんによっては双方が被害者になり得るなど、憂慮すべき問題であると痛感いたしました。

(2面へ続く)

### 吉本 充県議プロフィール

- 略 歴
- 昭和31年12月 富津市に生まれる
  - 昭和54年3月 國學院大學卒業
  - 昭和54年4月 富津市役所に奉職
  - 平成8年4月 富津市議会議員に初当選
  - 平成11年4月 千葉県議会議員に当選
  - 平成15年4月 " 再選
  - 平成19年4月 " 3選
- 現 職
- 千葉県議会議員(3期目)
  - 県議会文教常任委員会委員
  - " 土石採取対策審議会委員
  - 自民党県連組織本部長、政調会文教部会長
  - 富津市スポーツ少年団本部長
  - 天羽剣志会代表
  - 富津市文化協会会長

県政や富津市のご相談、ご意見を聞かせてください

**吉本 充 県議事務所** 〒293-0006 富津市下飯野1114-2 TEL.0439-80-1885

# 温暖化対応のノリ品種改良

(一面からの続き)

その後、十日にあらためて守る会の役員の方々とともに、県当局に許可取り消しを求める要望にまいりました。

県としては「現在のところ、違法性は見当たらないので、許可を取り消すことは難しい」との回答でありましたが、地元住民の方々が感じている不安と混乱の解消を、さらには地権者や事業者との不毛なあつれきを回避するためにも、今一度伺います。

一点目として、  
県は地元が反対している中で、どのような経緯で許可をしたのか。また、許可を取り消す考えはないのか。  
環境生活部長 富津市金

谷地先の残土特定事業については、平成十九年六月に指導指針に基づき、事前計画書が提出され、地元住民に対する説明会を経て、平成十九年十月十八日に県へ許可申請が提出されたところ。県は、申請書の提出を受け、他の法令を所管する関係部局や富津市等の関係機関へ意見照会を行い、条例に規定する許可基準を満たしていることから、平成二十年五月三十日付で許可いたしました。

を許可条件に加えたところ。県としては、今後も引き続き、地元の理解を得て、協定を締結するよう事業者を指導してまいります。

吉本議員 富津市から要請のあった浜金谷港において、残土荷揚げをさせないことについて、県の見解はどうか。  
県土整備部長 港湾施設の利用については、港湾法では何人に対しても不平等な扱いをしてはならないとされており。また、港湾管理条例では、港湾施設を汚損する恐れのないことなどが使用許可の要件となります。

浜金谷港では、石材の出荷等も行われているため、

## 養殖試験で高い評価

### 品種登録で千葉ブランド定着へ

吉本議員 私の地元の富津では、ノリ養殖業は重要な地場産業で、全国に誇る高品質な千葉ブランドの名産地と言われている。しかし、近年、温暖化の影響によって、生育不良など問題が生じているが、高温耐性ノリ品種改良事業について、現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

吉本議員 私の地元の富津では、ノリ養殖業は重要な地場産業で、全国に誇る高品質な千葉ブランドの名産地と言われている。しかし、近年、温暖化の影響によって、生育不良など問題が生じているが、高温耐性ノリ品種改良事業について、現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。

した三種類のノリを用いた漁場での養殖試験を実施したところ、従来品種より高温下での生長が良好で、品質の低下が少ないなどの特性がみられました。また、製品とした干しノリについても、高い評価が得られたところ。今後は、十九年度の三種類に新たに得られた二種類を加えて漁場での養殖試験を実施し、これによって得られる結果をもとに、平成二十一年度までに優良な品種の絞込みを行っていきたくという段階にきています。さらに、平成二十二年以降、新品種につ

総合研究センターで平成十七年度から二十一年度までの五カ年計画で高温でも養殖可能なノリ品種の改良に取り組んでいるところです。平成十九年度には、選抜

を許可条件に加えたところ。県としては、今後も引き続き、地元の理解を得て、協定を締結するよう事業者を指導してまいります。

吉本議員 富津市から要請のあった浜金谷港において、残土荷揚げをさせないことについて、県の見解はどうか。  
県土整備部長 港湾施設の利用については、港湾法では何人に対しても不平等な扱いをしてはならないとされており。また、港湾管理条例では、港湾施設を汚損する恐れのないことなどが使用許可の要件となります。

**要望** ノリ養殖について、高温水に耐える品種改良として、昨年行った試験が良好だったと聞いています。

県においては、本格生産が一日も早くできるような品種登録を行い、千葉ブランドのノリとして定着できるように予算をつけて推進していただくようお願いいたします。



東京湾漁業研究所を視察する吉本県議

少北側とすることで、昨年未から今年七月にかけて交通死亡事故が二件発生した。この県道は、約一・二キロ区間で歩道が整備されていないことから、走行する車両と歩行者等が接近するなど安全性の問題が生じており、また、近隣に商業施設が進出してきたことから、歩行者も増加傾向にあり、沿線住民の生活は、日々危険にさらされている。このことから、地元で組織した基幹道路整備促進期成同盟から県へ歩道整備の要望をしたところだが、まさに、二件目の事故が発生した翌日のことだった。

私も、事故が発生してから現場を視察したが、今後このような事故が二度と起こらないように、交通弱者が安心して通行できるように、一刻も早く歩道の整備

## 来年度用地買収に着手

### 県道大貫青堀線の歩道整備

吉本議員 県道大貫青堀線の富津市下飯野地先の富津市役所入り口交差点から

が必要だと考えている。そこで、質問だが、県道大貫青堀線の富津市役所付近の沿線地権者から、歩道整備の用地について全面的に協力する旨の同意書が県に提出されていると聞いているが、県は歩道整備を今後どのように進めていくのか。

県土整備部長 県道大貫青堀線の富津市下飯野地先から北側一・二キロ区間については、歩道がなく、路肩も狭い状況にあります。当該区間のうち、約〇・五キロについては、昨年末に発生した交通死亡事故を契機に、関係地権者から用地の前面協力が得られました。このため、今年度より用地測量及び歩道設計を実施し、来年度から用地買収に着手する予定です。



交通死亡事故現場を確認する吉本県議

# 特色化選抜は全員が学力検査

## 複数回の受検機会保証へ

# 街づくりから国づくりは人づくりから



君津商業高の遠山校長から説明を聞く吉本県議

## 君津商業高で学科再構成

### 2年生からコース選択

県議会文教常任委員会に所属し、自民党県議団の中でも「教育に関し、他に人なし」といわれる吉本みつる県議は、今県議会でも教育問題を取り上げ、県教委の方針をただしました。この中で、高校の特色化選抜は、23年度入試から「前期」「後期」に分けられ、ともに学力検査が実施されることや選抜の実施時期が若干遅くなることなどが明らかにされています。

吉本議員 現在の県立高等学校の特色化選抜は、大変すばらしい選抜制度だと思っている。私は、剣道の指導等で地元の中生やその保護者、高校生、先生方と接する機会があるが、その際、現在の特色化選抜の良い点が多く、声として寄せられている。

県教委は、県立高校の特色化選抜について、どのような認識の下に、どのような改善を図っていくのか。教育長

特に、前期選抜においては、一日目に学力検査を行い、二日目に各学校でスポーツや文化活動による「自己表現」や「面接」等の検査を行うなど、生徒の多様な能力を評価する選抜制度にしたいと考えています。吉本議員 君津商業高校の学科を四学科から二学科にするねらいは何か。教育長 君津商業高校は、商業科、会計科、情報処理科、国際経済科の四学科を設置し、それぞれの学科の特色を生かした教育を行うとともに、一層地域に愛される学校とするため、さまざまな改革に取り組んできました。

これは、地元中学校関係者からの要望も踏まえ、四つに細分化された学科を大きく二つにまとめ、入学後の学習を通して自己の能力、適性を理解したうえで、二年生から将来を見据えたコースが選択できることをねらいとしたものです。吉本議員 再編校を



天羽高の宗政校長と地域連携を話し合う吉本県議

## 天羽高が文科大臣賞受賞

地域との連携重視で指定校

吉本議員 天羽高校の活性化について、県教委は具体的にどんなことを考えているのか。教育長 天羽高校では、これまで少人数のきめ細かな指導を目指して「ビジネス」「情報」「デザイン」など六つのコースを設置し、特色ある学校づくりをしてきました。これに加え、県教委では平成十九年度から「魅力ある高等学校づくり」チャレンジ支援事業に指定し、地元企業の協力によるインターンシップ等に取り組み、その結果、キャリア教育優良団体として、文部科学大臣賞を受賞しました。さらに、平成二十年

度、地域との連携を重視した特色ある教育課程や教育体制の構築について実践研究する「地域連携アクティブスクール」に指定しました。現在は、富津市教育委員会や地元自治会、商工会等からなる推進協議会の設置に向けて準備を進めているところです。吉本議員 再編校を

含め、定員割れした高校があるが、その対応について県教委はどのように考えているのか。教育長 ご指摘のように、近年の少子化により、平成二十年度の入学選抜でも、定員に満たない県立高校がありました。学校自らが主体的な取り組みをする従来

の支援事業に加え、今年度から、各校が一つはキラッと輝く取り組みを行い、全校一斉に広報する「二校一キラ」事業を始めたところです。今年度は、高校再編計画の成果と課題も踏まえ、より一層県民に信頼され、地域に愛される魅力ある学校づくりを目指してまいります。

# 富津公園プール施設の老朽化に対応



自席から再質問する吉本県議

## 「利用者は減少傾向」と県

### 開設から17年、施設の総点検中

吉本議員 富津公園のジャンボプールと温水プールの利用状況はどうか。まちづくり担当部長 ジャンボプールは、七月から八月の夏季に営業している施設ですが、平成十九年は約六万七千人、平成二十年は約五万七千人の利用がありました。

また、屋内温水プールの年間利用者数は、平成十八年度が約七万三千人、平成十九年度が約六万二千人です。

これらの要因は、本年八月後半の局地的な大雨や、近隣の類似施設のリニューアルオープンなどの影響があったものと思われま

また、長期的に見ても、レジャーの多様化や少子化など社会情勢等の変化により、利用は減少する傾向にあります。

吉本議員 プールの点検状況についてはどうか。特に、構造上の安全性が求められるスライダープールの点検状況はどうか。

まちづくり担当部長 プールの点検は、水質維持のため循環・ろ過設備の作動状況や、事故防止のため排水口の安全性などの項目について、定期的に実施しています。

また、日常的にも開園前に排水口の確認を行うとともに、一時間ごとに休憩時間を取り、水質や危険物の確認などを行っています。

ご指摘のスライダープールの点検については、建築基準法において損傷、腐食

その他劣化の状況の点検を行わなければならない工作物であることから、同法に基づき、支柱・梁等の構造部や滑走路などについても点検を実施しているところ

です。

なお、屋内温水プールについては、開設から十七年が経ち、建物の鋼材に腐食等が見られてきたことから、現在、施設の総点検を行っているところです。

#### 要望

老朽化しているから、残念ながら利用状況が減ってきた。これは理解している。そして、せっかくいい場所にあつて、特にジャンボプールなどは、夏休み期間中しかやっていないにもかかわらず、これだけの人が利用している。実は、本当に県外からもたくさん人がきている。

富津市と姉妹都市を結んでいる山梨県甲州市のスポーツ少年団の子供たちは、目の前に海がありながら、このプールで遊ぶ。今はメンテナンスをきちんとやっているというので安心して、大変古いものでもありますが、将来的には、県の財政が許すときがくれば、全面改修ということも視野に入れて検討してもらおうという要望しておく。

## 地域手当一律化の勧告を

### 吉本議員

教職員、県職員の支給される地域手当は、本年度は暫定的に6%から4%支給の三分区分になっているが、勤務する場所が異なるだけで、手当の額に差が生じ、職員に不公平感が生じており、士気や人事異動にも影響している。ぜひ、県内一律支給を勧告すべき

ではないか。県議会の意見を踏まえた地域手当の検討状況はどうか。

人事委員会委員長 昨年十二月に県議会で全会一致で可決された「地域手当の県内格差支給の是正に関する意見書」について、人事委員会として真摯に受け止めています。

そこで、例年五月から六月に行っている民間給与実態調査で、本年は新たに本県独自の調査を実施しました。その内容は、県内に複数の事業所を有する民間企

業について、勤務する地域により従業員の給与に違いを設けているかどうかを調査したものであり、現在の結果を精査しているところです。

吉本議員 地域手当の今後の方向性はどうか。

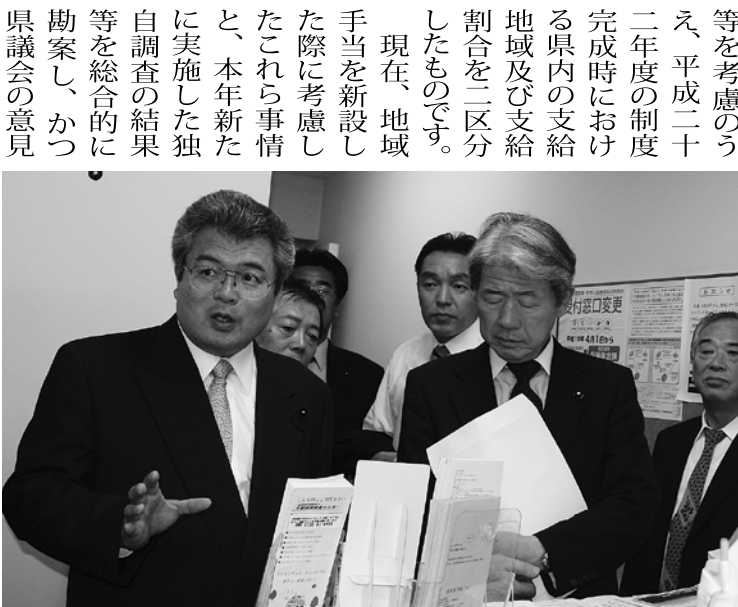
人事委員会委員長 地域手当は、平成十七年に手当の新設を勧告した際、民間の賃金水準を基礎として、地域の一体性、人事管理上の一定の配慮など本県の実情等を考慮のうえ、平成二十二年の制度完成時における県内の支給地域及び支給割合を二区分したものです。

現在、地域手当を新設した際に考慮したこれらの事情と、本年新たに実施した独自調査の結果等を総合的に勘案し、かつ

書の内容等を踏まえながら、勧告に向けて、改めて鋭意検討を進めているところで

### 県人事委員会が7%勧告

吉本県議の議会質問などを受けて、県人事委員会は、このほど県内赴任地によって異なる地域手当の支給割合を、平成二十二年から「一律7%」とするよう勧告しました。



がんセンターを視察する吉本県議

## 9月県議会 一般質問

富津市 特集

### 地域のために

# 吉本みつるの県議

### 重要課題で知事を追及

九月定例県議会で、最大会派の自民党が党の代表質問を行いました。

代表質問は、財政問題を筆頭に、逼迫する自治体病院への支援策を含む地域医療問題や救急医療問題と先端医療食の安全・安心、三番瀬問題、今後の企業立地、農林水産業などいずれも県政の重要課題を取り上げ、堂本知事の姿勢を追及し、党としての懸念を表明しました。

知事は、九月補正段階でもなお九十億円の財源不足には「樂觀が許されない」として、滞納整理や全庁一丸での経費削減による年度内の財源不足解消を表明しましたが、全体としては、県政への明確な姿勢はみられませんでした。

充